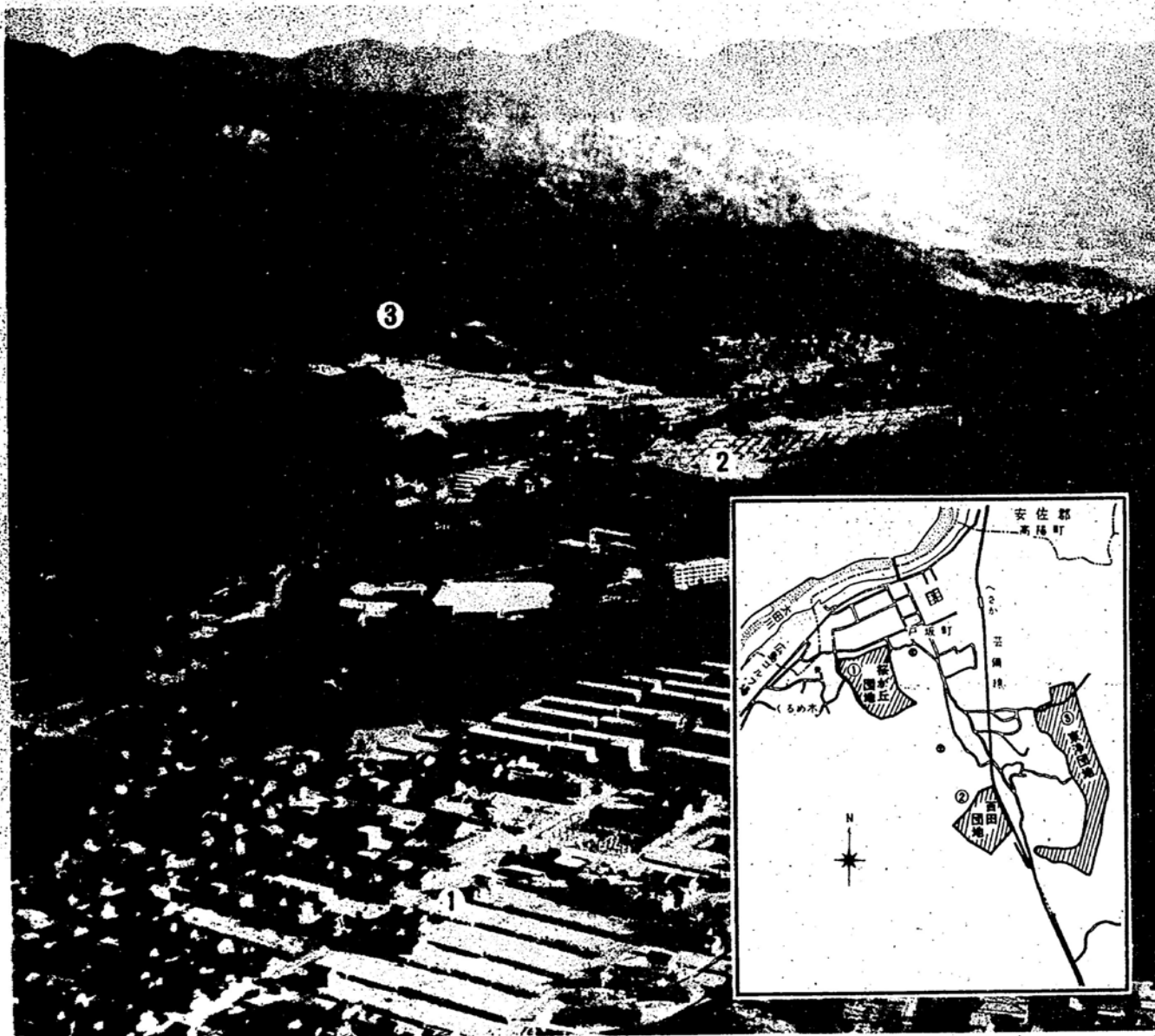


広島市政と市民

人口と世帯

人	口	543,024
男		271,256
女		271,768
世	帯	176,272
(1月31日現在)		

3月1日号 No 262



開発進む戸坂地区=①桜が丘団地 ②百田団地 ③東浄団地予定地(写真は毎日新聞社 提供)

広島市の住宅対策の中には、市営住宅の建設とあわせて、住宅団地を造成する宅地開発事業があります。これは、「家を建てたいが適当な土地がない」という人のために、市が宅地を造成して、できるだけ安い値段で分譲するという事業です。

広島市では、昭和三十七年十月から戸坂町に住宅団地の用地を求めて開発してきました。まず、昭和四十年三月に、戸坂町桜が丘に十六万五千平方メートル(五万一千坪)におよぶ大住宅団地を造成したのを皮切りにして、ことしの四月には、同町百田に十二万七千平方メートル(三万八千坪)の団地を完成させます。続いて、同町東浄に二十七万四千平方メートル(八万二千坪)の団地を造成するため、現在用地の買収交渉を進めております。

また、戸坂町とは別に西部開発事業として、鈴が峯や井口、草津、古田の山地部を切り開いて、七十一万一千平方メートル(十六万二千坪)の大きな住宅団地を造成するため、現在、用地買収の話し合いを行なっています。

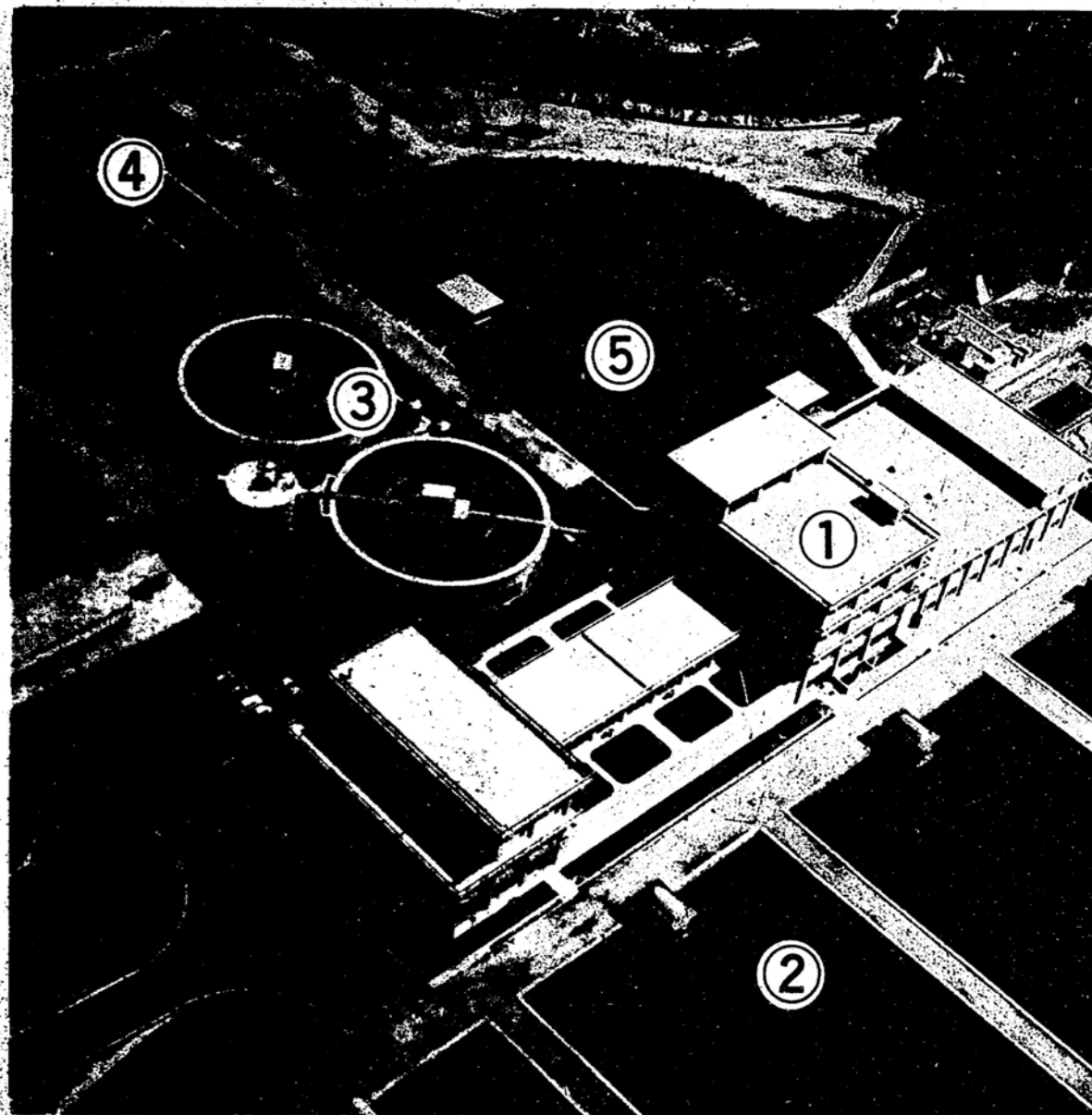
広島市では、将来も適地を選んでベッドタウンとして開発し、住宅に困っている人の期待にこたえて行く考えです。



広島市政と市民

水道事業の
現況と将来

特集号 No 263



空から見た牛田浄水場のおもな施設 ①浄水場本館 ②緩速ろ過池 ③強制沈澱池 ④緩速用沈澱池 ⑤第2浄水池

豊富できれいな水を送り続けるために

この内容は、ことしの一月、水道事業管理者から発表された「水道白書」の概要です。

水の需要量は、都市が発展し、文化生活が向上すればするほど増加して行きます。ですから、水の増加量は、こうしたようすをおしはかるバロメーターといえます。

水道はわたくしたちの日常生活に欠くことのできないものであることはいうまでもありません。それだけに、いったん断水という事態にでもなればたいへんなこととなります。しかし、その反面、広島市のように豊富な水を毎日不自由なく送り続けていると、水のありがたさをあんがい感じなくなっているのが現実ではないでしょうか。

広島市は、水道事業の経営を改善し、経費の節減をはかりながら、市勢の発展に先がけて、つねに先手先手と水源を確保し、拡張事業や改良工事を行ない、思い切った施策をこうじ、今日まで、市民のみならずには断水の不安がない生活を送り続けていただきました。

しかし、近年、産業が発展し、人口がふえ、市民生活の近代化が急速に進むにつれて、水の需要は予想以上に増加していますので、これに際するため、ばう大な費用を投じていゝんな事業を推進しなければなりません。

そこで、今回、水道事業の現況と将来の見とおしを説明し、市民のみならずの理解と協力を得たいと思います。

第6期水道拡張事業

期 間：45年度から4か年
 総事業費：55億円
 効 果：緑井浄水場の能力を10万立方に 増強
 計画想定（52年度）
 給水人口：69万人
 1日最大給水量：40万立方に
 ひとり1日最大給水量：580ℓ

ピッチあげる拡張事業

年々増加する水の需要に応じて、第五期水道拡張事業を強力に進めています。この事業は、三十九年度からの九年継続事業として、総事業費百十二億円を投じて完成を急いでいるものです。計画としては、四十七年の給水人口を六十万人と見込み、一日最大給水量を三十三万立方に、ひとり一日最大給水量を五百ℓにします。この事業を大別すると、東部給水システムの増強と西部給水システムの増強に分けることができます。

まず、東部給水システムの増強ですが、これは、牛田浄水場から給水される施設能力を一日五万立方にふやして一日最大給水量を二十万立方にする工事、それに伴う黄金山配水池の新設、戸坂・原岡取水場の増強などの事業を、四十一年度末までに完成しました。また、四十年に五期拡張事業の計画を変更した機会に、新しく似島を給水区域に入れ、海底送水管により似島へ太田川の水を運ぶ事業を、三億九千万円の経費で四十二年十二月に完成しました。

つぎに、西部給水システムの新設する事業は、新しく安佐郡佐東町緑井に、一日最大給水量十立方の能力を持つ浄水場を建設することが支柱になっています。このため、現在、新浄水場の建設とともに浄水場に直結する施設として、緑井浄水場から市内已斐町を結ぶ送水管の布設工事を急いでいます。この送水管のうち、低岡町長東から已斐町西山までの三千七百五十ℓは送水トンネルにしますが、単に水を送る役割を果たすだけでなく、トンネル内に配水池もつくるといふ、わが国ではめずらしい施設になります。この西部給水システムの新設事業には七十億五千五百万円をかけています。

四十四年度夏の西部系統完成のあかつきには、十立方の給水能力が確保でき、東部系統とあわせて一日最大給水量が三十三万立方になります。ふえていく水の需要にふさわしく、広島市が発展すればするほど水の需要はふえますので、早くつぎの拡張事業に着手しなければいけません。

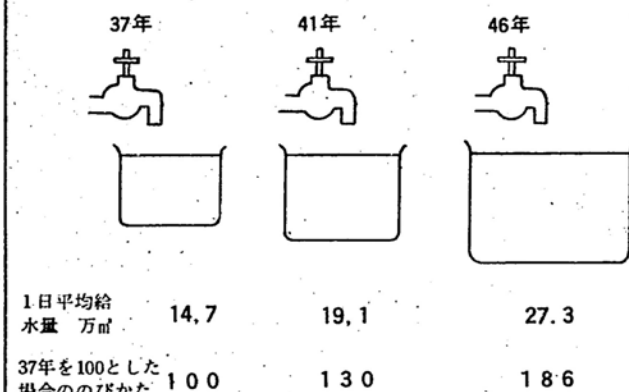
ふえていく水の需要

最近における水の需要は、市街地の再開発や市周辺の住宅化などによって給水人口がふえ、さらに、生活水準の向上や産業の発展などに伴い、水需要の上昇に拍車をかけ、年々増加の一途をたどっています。給水量が増加している状況を、一日最大給水量と比較すると、三十九年度には十八万六千立方であったものが、四十一年度には二十四万五千立方に達し、昨年の夏には二十六万五千立方を記録しています。ですから、一年間で実に二立方という大幅な増加を示したことになるわけです。

これは、牛田浄水場の給水施設を正常に運転したときの能力二十万立方を三〇%もうまわる必要量で、施設能力の限界をこえるような状態に達して、かろうじて給水することができたものです。このような状態を早く解消するために、過去、数回にわたって拡張事業を行ってきましたが、水需要の増加に追いつかず、なお十五立方の給水能力が不足しています。四十四年度夏の完成をめざして安佐郡佐東町緑井に新浄水場を建設しております。

1 給水量ののび

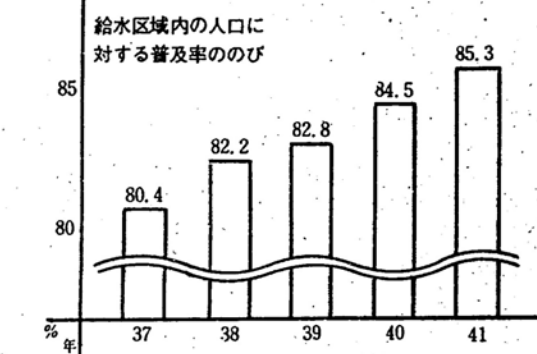
昭和41年までの5年間で家庭や工場などへ送られた一日平均の水の量は30%近くふえました。



昭和46年になると、37年にくらべて2倍近くの水が送られなければいけなくなっています。

2 水道の普及状況

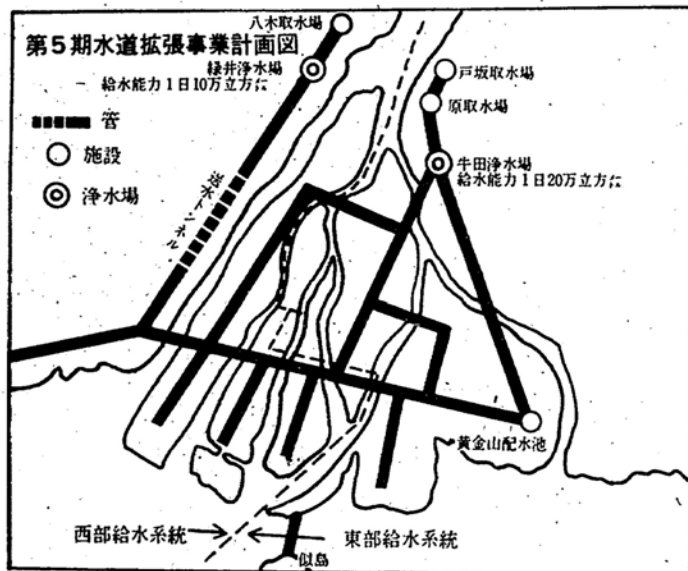
新しい住宅の建設がすすんで、給水がおいつきません。



給水区域の拡張を急ぎ、市民皆水道をめざして、新しい計画を進めています。

4 現在進行中の水道拡張事業(1)

この事業は、明治三十九年の第一期拡張事業から数えて五度目にあたりますので第五期水道拡張事業と呼び、昭和三十六年から昭和四十四年までの九年間の事業としています。



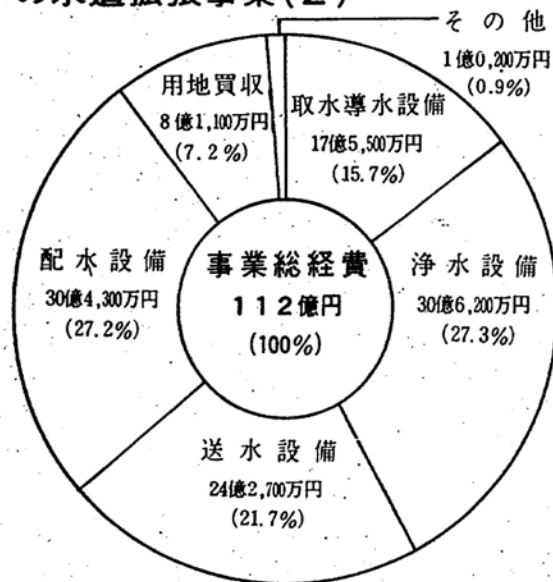
給水人口六十万人を目標に、給水能力十五万立方を増強する事業が進められています。

■事業の進みかた……

この事業は、左の図の点線のように東部系統と西部系統にわけてすすめ、四十一年度で東部系統は完成し、現在西部系統をすすめています。

5 現在進行中の水道拡張事業(2)

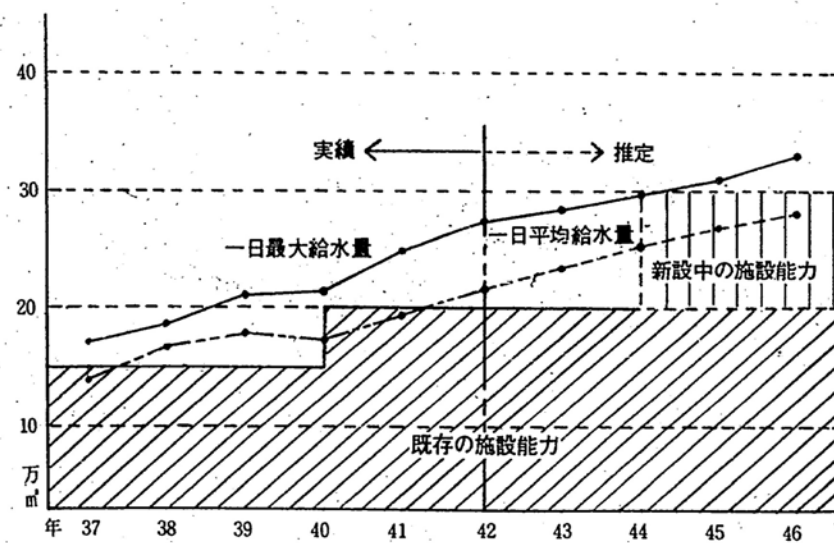
第五期水道拡張事業の総事業費は、実に百十二億円というばう大な額にのびます。



この事業の九九%は借入金(企業債)でまかなわれ、そのための利子と返済金が年々増加し、水道財政をピンチに追いこんでいます。

3 給水量と施設能力

いまのままの施設では昭和44年の夏の給水は赤信号になります。



この表の見かた
 42年現在では
 給水施設能力：20万ℓ
 一日平均給水量：21万1,000ℓ
 一日最大給水量：26万5,000ℓ

いまでも夏の給水は施設の能力をこえています。

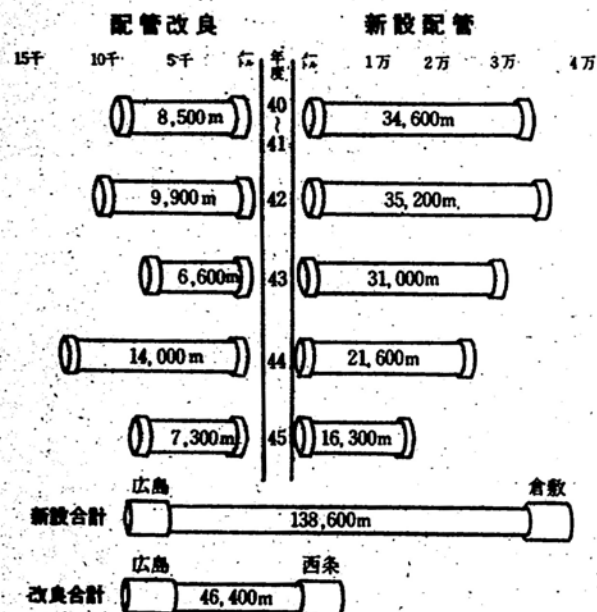
新設中の施設：安佐郡佐東町緑井に建設中の新浄水場をさします。

給水能力は1日当り10万ℓです。

既存の施設：牛田浄水場をさします。給水能力は、昭和40年に増強し、現在1日当り20万ℓです。

6 配水設備整備事業

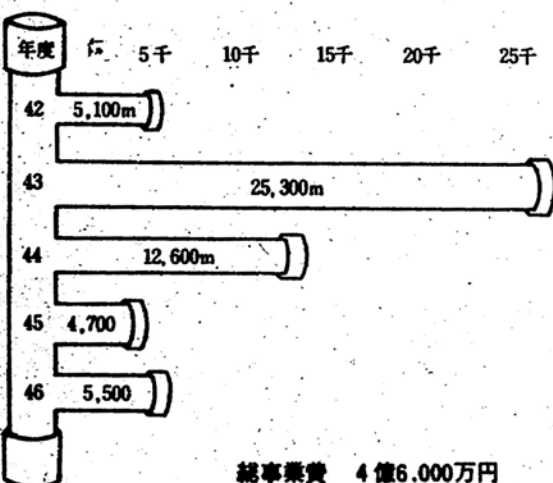
40年から6か年計画で、配水池の建設や、配水管の新設、改良を進めています。



配水管の新設 : 138,631m——これは広島駅から、岡山県倉敷駅近くまでとく長さです。
 配水管の改良 : 46,371m——これは広島駅から、県内西条駅までとく長さです。
 総事業費は、17億3000万円で、この事業費も98%が借入金（企業債）でまかなわれています。

7 配水小管整備事業

家庭まで引き込む配水水管の整備も5か年間で、新設・改良合計53,190ににおよぶ整備を進めます。



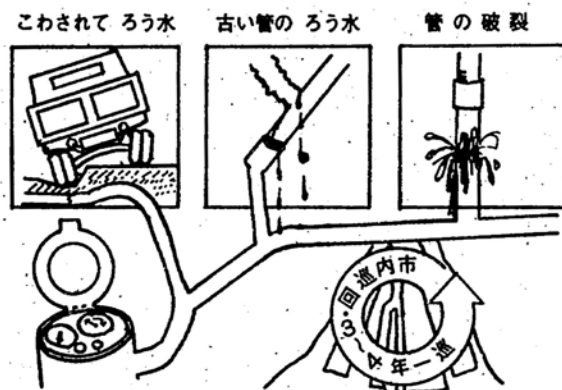
配水水管のうち、口径75%から100%までのもの（新設・改良小計32,510m）は借入金を当てられないので、水道料金でまかなわなければなりません。

家庭に直結する 配水管設備を

拡張事業と並行して市内一円の配水管網を整備し、給水を公平に行うことが必要です。配水管の整備は、配水設備事業、配水小管整備事業、漏水防止事業、量水器整備事業の諸事業を推進しています。これらの事業は、みなさんのご家庭に直結しているもので、真剣にかつ積極的に取り組まなければなりません。ことに、配水小管整備事業のうち、口径七十五ミリ以下の配水小管は、企業債を求めることができず、自己資金つまり水道料金にたよらなければならぬのが実情です。しかし、水道財政が逼迫するにつれて、じゅうぶんな計画的整備ができない状況にあります。これらの事業のうち、とくに、古くなった配水管の取替は、早く実施して水を止める効果は、早く実施して水もれ防止の効果をあげる必要があり、また、水もれ防止は目に見えない大事な仕事で、おまけに、深夜、水もれ量の測定や水もれ箇所の発見と修理を行ない、多くの費用と努力を払っています。

8 ろう水防止対策

気がつかないところで、水がもれ出ているのを防ぎ、サービスを向上するのもたいせつなことです。



これまで6年間で、市内をまわっていたろう水防止作業を、3～4年間で一巡するようにし、配水管の維持・保守に努力を払います。

9 量水器整備事業

量水メーターは毎年約1万個が新たに取付けられ、使用水量の正しい、はあくのため古いメーターもとりかえられています。

年度	量水器整備口数	()内金額
42	14,300	(3,700万円)
43	15,800	(4,000万円)
44	16,900	(4,500万円)
45	14,900	(4,100万円)
46	9,100	(2,500万円)

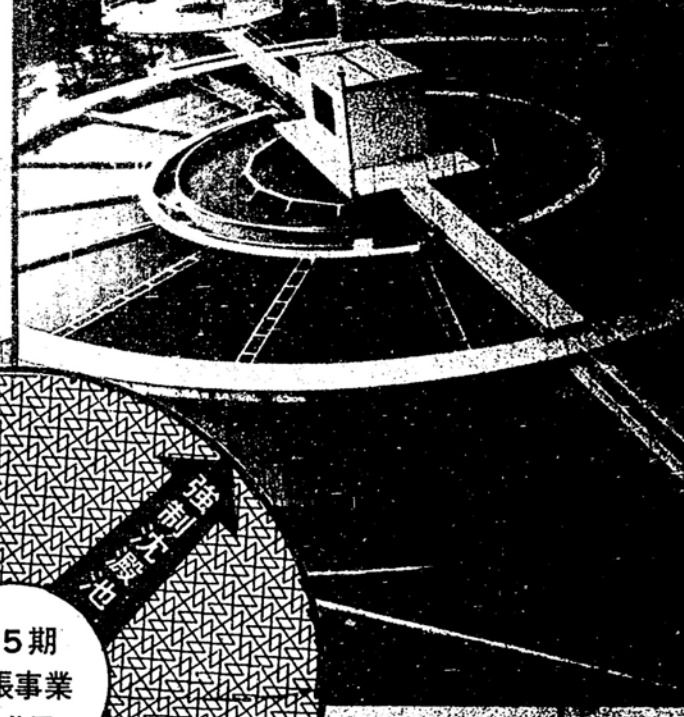
合計 71,095口 (1億8,725万7,000円)
 ①=5,000口

メーターの設置総数は41年度末、12万7,000口です。最近では、はやく性能がわるくなる金属性の計量器をプラスチック製のものにつけかえる仕事をすすめています。(41年度末43%取換え済)

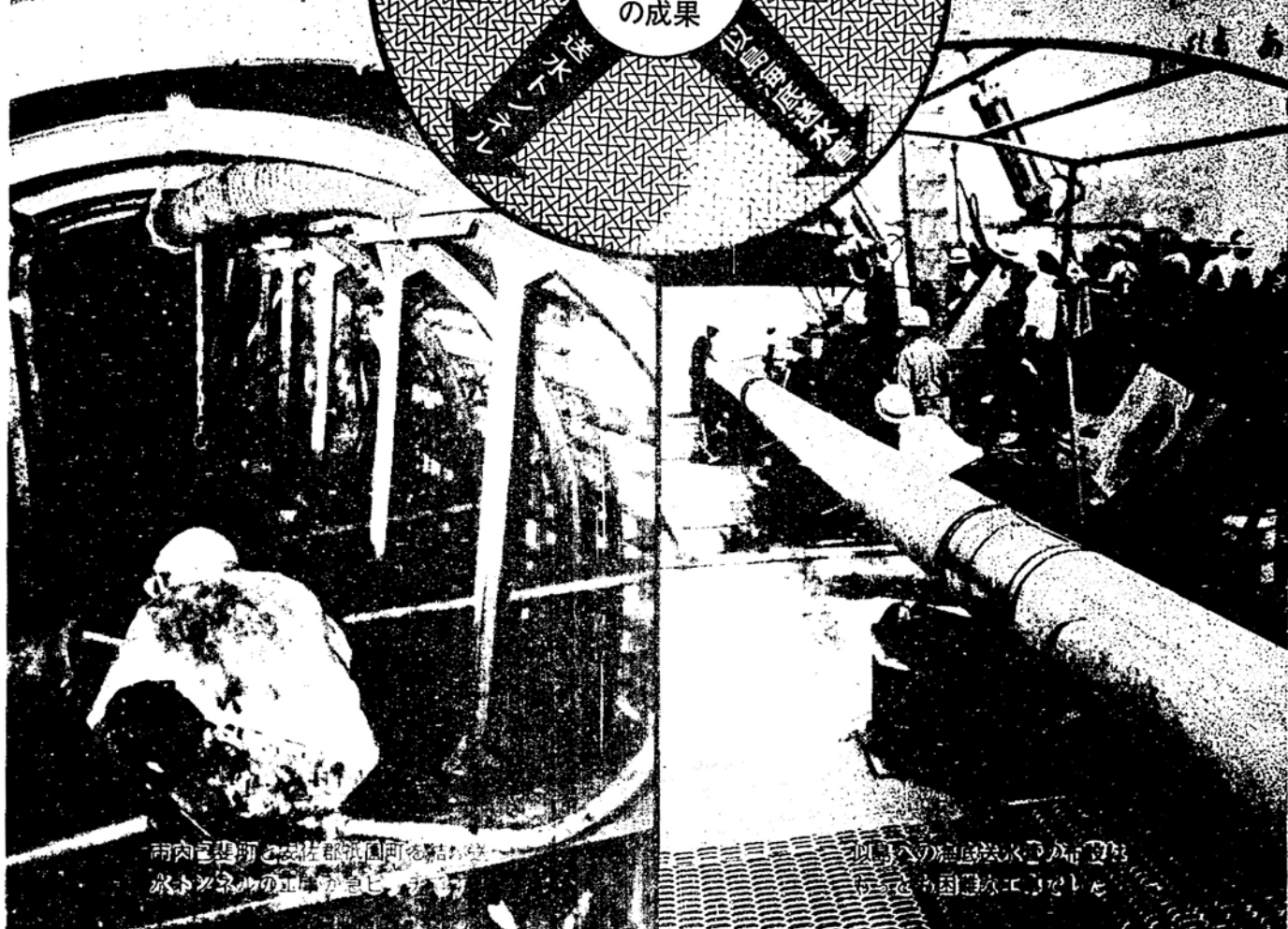
緑井浄水場は44年夏の完成をめざして建設工事を進めています



牛田浄水場の中に、新しい浄水池を、クレーンを入れてゴミを取りのぞく作業をしています



第5期
拡張事業
の成果



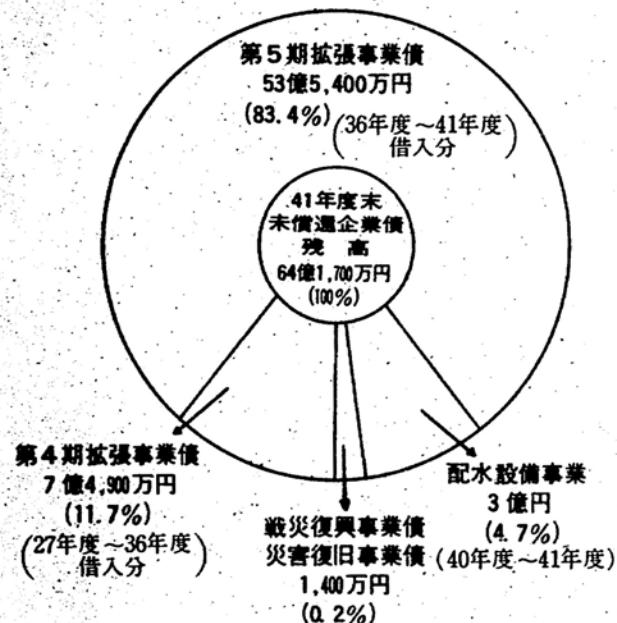
市内各所へ、生活用水を供給する
水メーターの正しい設置

広島市の生活用水を供給する
水メーターの正しい設置

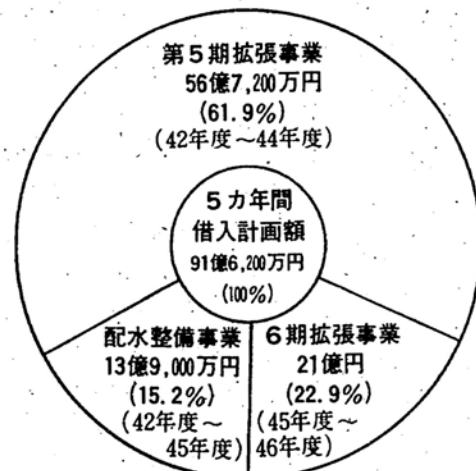
11 借入金（企業債）の実状

施設建設が必要なため、借入金による苦しいやりくりは、まだまだ続きます。

41年度末未返済の借入金



42年度から5年間の借入計画



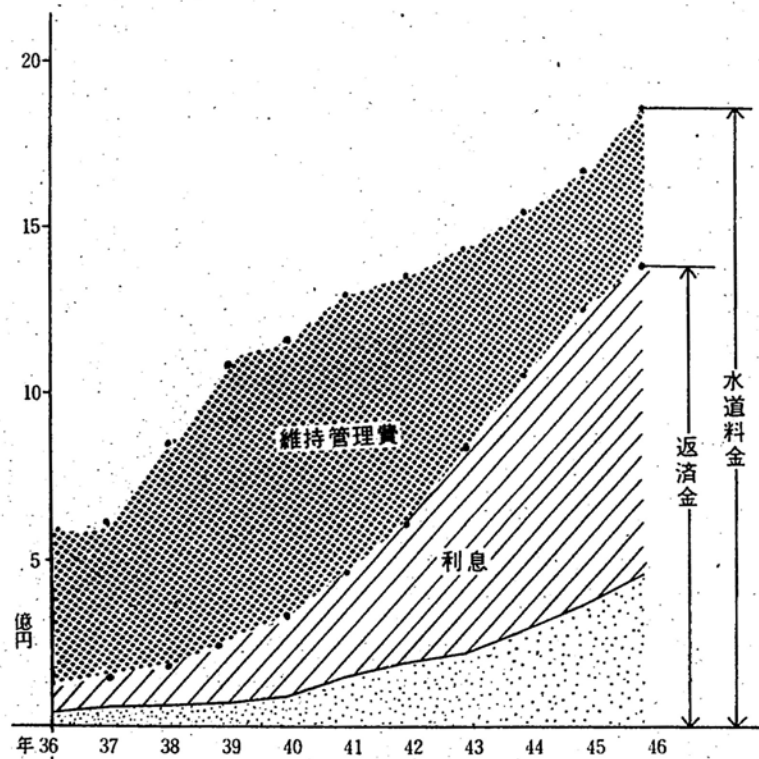
都市が急速に復興し、住宅や工場の増加に応ずるため、建設事業をいそがなければなりません。その影響は、これからの水道料金に、大きくひびくこととなります。

12 借入金の返済状況と計画

借入金の返済は、元金と利息を加えるとたいへんな金額になり、現在のままの料金では負担にたえられなくなります。

	水道料金	返済金
38年	7億 802万5,000円	1億8,315万円
42年	12億9,140万9,000円	6億1,443万5,000円
46年	17億6,794万2,000円	13億6,299万8,000円

水道料金に占める返済金の割合は、昭和38年に26%であったものが、現在では2倍、48%になり、さらに、46年には3倍、77%にもなります。



このままだと赤字になる水道財政

ふえる返済元利金

水道事業は地方公共団体が企業として経営する事業という意味で「公営企業」と呼ばれます。いわば、「役所が経営する会社」だということで、一般行政とは区別され、独立採算制を原則とした財務制度が立てられています。ただし、民間会社と大きく違う点は、事業の目的が地域住民の福祉の増進であって、営利を追求するものではないことです。

したがって、水道料金を決定するときは、水の取水、浄水、配水などに必要な経費や施設の償却費、それに、新たに施設を拡張するための資金準備や、施設建設のために借り入れた資金の返済元利金などが料金決定の要素になり、会社や商店でいう「利益」にあたるものを計画的に割りつけることはありません。けっきょく、水道料金は水道事業を運営するために必要な経費と施設の改良や新設に関する資金の調達をねらいとして決定されているというわけです。

都市の発展速度がゆるやかなところでは、余裕をもって施設計画が立てられ、資金準備も進められますが、広島のように急速に発展する都市では、都市の発展に先がけて施設を建設しなければ、市民生活をおびやかすことになり、いきおい、資金を借り入れて施設をつくり、あとから返済していくこととなります。

こうした借入金の未返済額は四十一年度末までに約六十四億円になりました。それでもなお、人口六十万人の都市を目前にする広島市では、四十四年度に完成しなければならぬ第五期拡張事業をはじめ、配水設備の整備など、新しい事業が計画され、四十二年度から四十六年度までの五年間で、約百二十三億円が新たに投資される予定で、これに対する借入金は約九十一億円と見込まれています。

借入金が増えればふえるほど、金利や返済元利金が増えるものと見られます。四十二年から五十年計画の水道財政の収支計画を見ますと、利息と返済元利金に当る額は、現行料金のままでいくと、四十六年度では料金収入の七十七%を返済元利金にあてなければならぬため、水道事業の通常の運営にも支障をきたすおそれが出てきました。

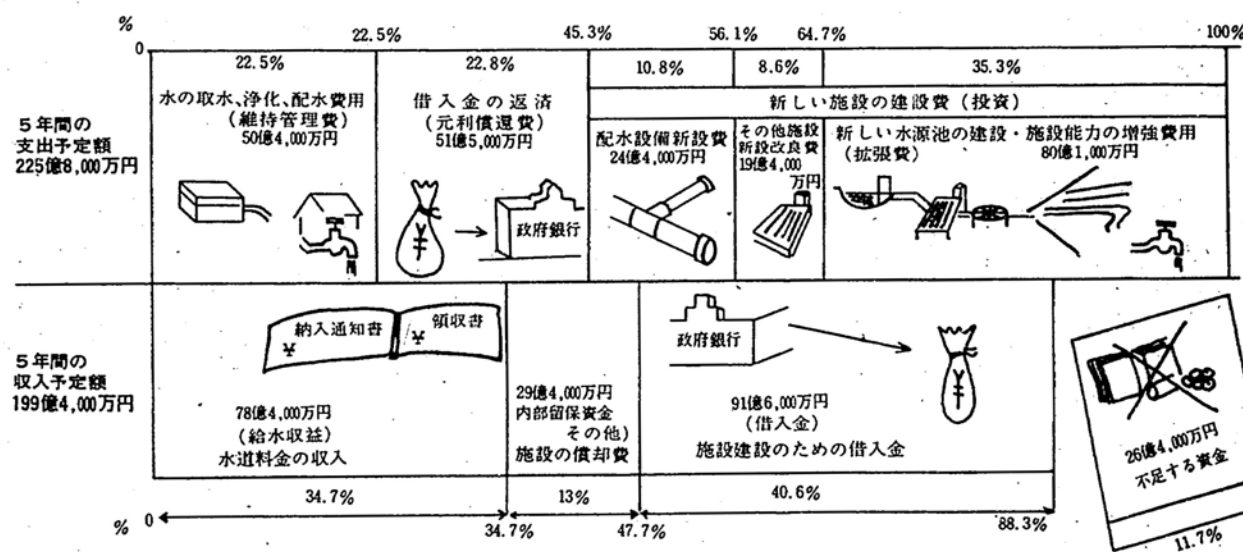
また、このように無理なやりくりをしても、四十六年度までに完成せたり、あるいは将来の広島市のためにどうしても手がけておかなければならぬ第六期拡張事業のための事業資金が、二十六億円ばかり不足するという結論が出ています。

もちろん、水道事業関係者全員は、くふう、改善など、最善の努力を払っていきいますが、市民のみならず、ご協力を得たいと訴えています。

10 水道財政の5か年計画

5か年間の総支出額の半分以上が新しい施設の建設費にあてられ、政府から借入金を受けても26億4,000万円が不足します。

——昭和42年度から46年度まで5年間の収支見積り——



水道施設の建設事業費は借入金でまかなわれ、これを料金収入の中から長期間で返していきます。

水道事業には、収支の釣り合いを別にして、施設を作らなければならない苦しさがあります。

高くない水道料金

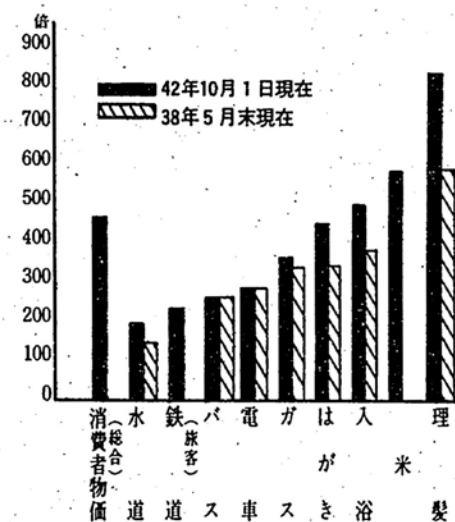
広島市の水道は、太田川の豊富な水源にはぐくまれ、戸坂や原の取水場から水を取り、それを牛田浄水場へ送って浄水し、家庭へ送りどけてきました。いわば、広島市の水道は地理的に恵まれ、有利な条件のもとで給水されていたわけです。しかし、人口が五十万人をこえ、広島市が発展し、都市機能が複雑になれば、その情勢に対処していかなければなりません。水道事業も例外ではありません。つまり、市民生活の向上に応じて水の需要がふえれば、拡張事業などを推し進め、設備を近代化して、水を運ぶ「基盤をつくらなくてはならないのです。そのためには、かなりの費用がかかります。

水道料金もこれまでの状況下であれば、安い料金でもすまされたが、都市の近代化が進めば、大規模な設備投資が必要になり、それに伴う水道料金も考えなおさなければならなりません。

広島市の水道料金は、他都市の料金や他の公共料金と比べて決して高くはありません。現在の基本料金は十立方メートル百四十円ですが、これはピーク三割半の値段で、いかに安いかがおわかりいただけると思います。

13 他の公共料金などとの比較

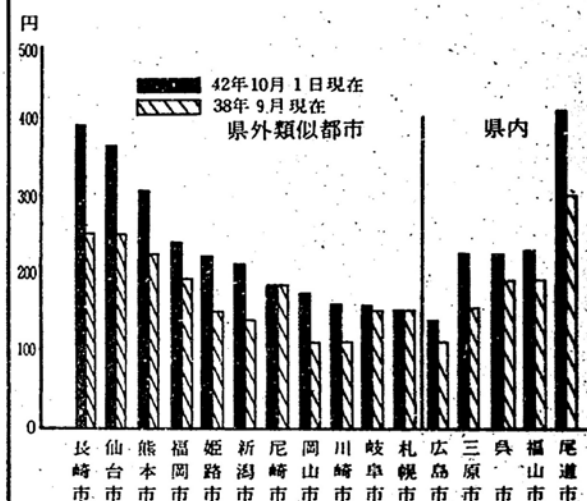
水道料金のおがりかたは、他の公共料金などのあがりかたとくらべると、かなり低いほうです。



昭和9年～10年を1とした場合を示します。

14 他都市との比較

本市の水道料金は、類似都市、県内の各都市とくらべて一番低いものです。

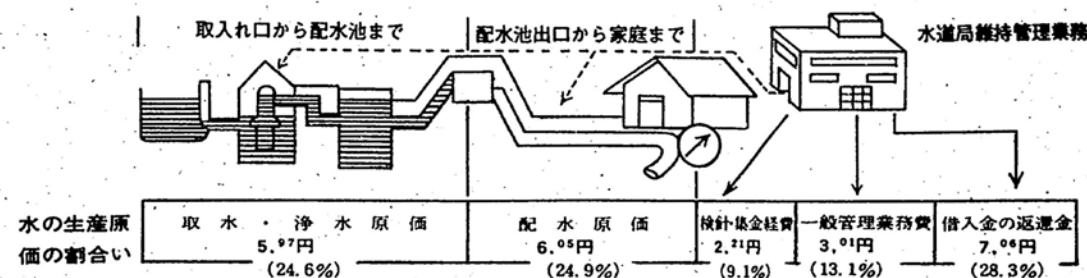


1か月に10立方メートル使った場合の家事用の料金です。

15 水道料金のしくみ

水道の水は商品です。作る経費、売る経費が70%かかりました。もうけに当たる30%は、施設建設借入金の返済にあてられました。

——昭和41年度 1立方メートルの料金内訳——



水道料金は、事業の計画期間全体にわたって、所要費用と支払利息が計算され、その額を事業期間で割って算出されます。

支払利息の大幅な増加が見込まれ、1立方メートルあたり24.30円の単価をくずしてしまいそうです。

広島市政と市民

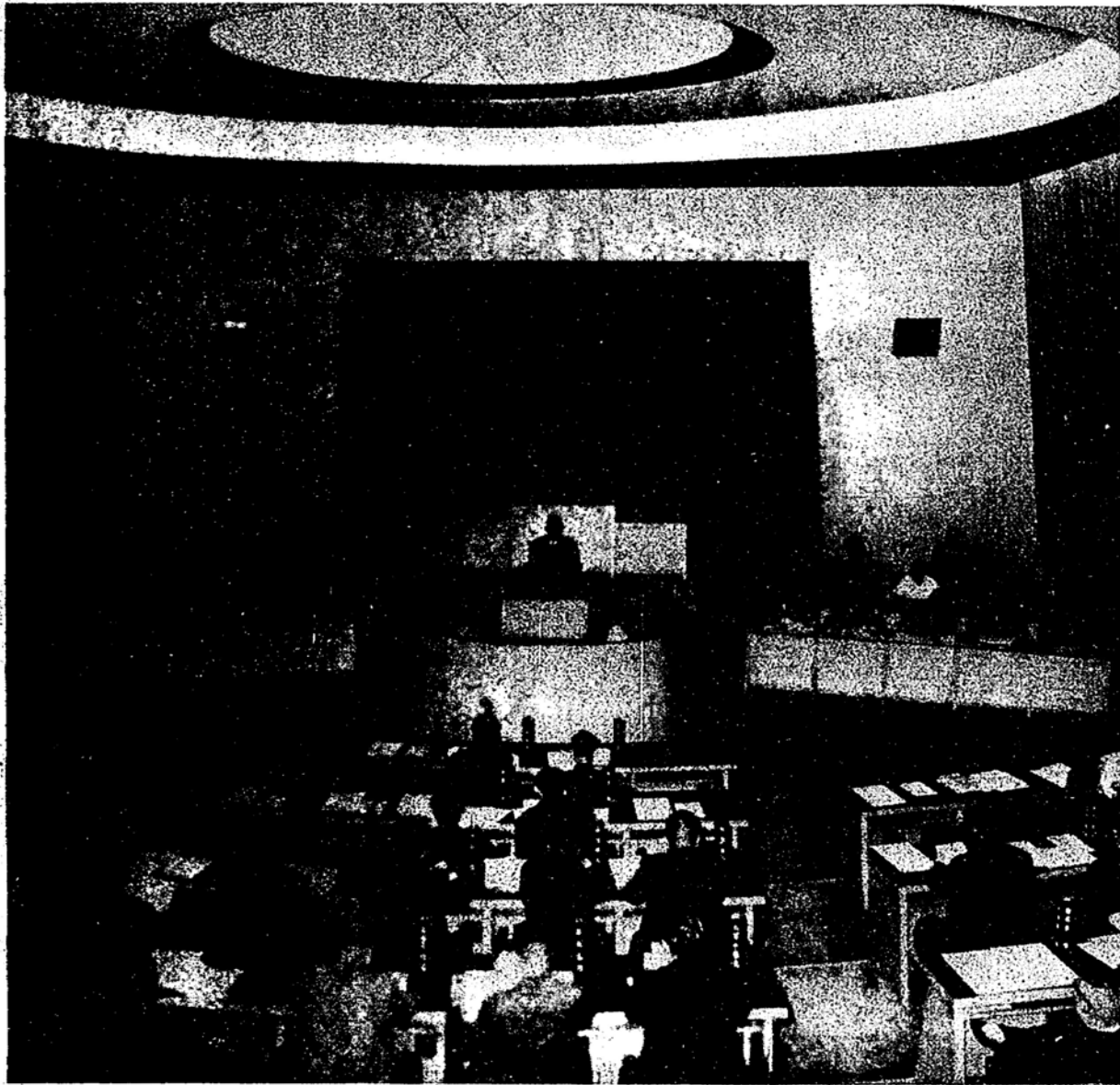
テレビ放送
「市民とともに」

中国放送(4チャンネル)毎週
日曜日の午前8時15分から。
17日「入学を前に」
24日「国保料金」
31日「42年度の行政報告」

3月15日号 No.264

昭和四十三年
度当初

三百億突破の大規模予算案



市議会本会議で説明する山田市長(中央)

昭和四十三年度の当初予算案を審議する市議会が三月七日から開かれています。総額三百億円を突破したこの大規模予算案は、昭和四十三年四月から翌年の三月までの一年間にわたる広島市のあらゆる事業が盛り込まれていますので、これを審議し、決定する場である予算市議会は、市民のみなさんのこの生活に直接大きな影響があるといえます。

市の事業には、住宅、道路、上下水道、民生、教育、清掃、保健衛生など、あらゆる分野にわたって、市民のみなさんの福祉向上のために実施しなければならない事業が山積しています。しかし、これらを一度にすべてを完全には実施することは財政的にとても不可能です。そこで、これらの事業の中から、市民生活の現状や将来の見とおしをじゅうぶん考慮して、四十三年度の実施すべき事業を選び、みなさんの税金や国の補助金などの収入を見込み、財政的な裏づけをして、一年間の具体的な計画を立てたのが予算です。

この予算案は市長が作成します。また、議会で審議決定した予算を執行するのも市長です。市議会では、市長が作成して提案した予算案を、市民の立場に立ってあらゆる角度から審議・検討します。とくに、予算のように多岐にわたる重大な問題は、細部にわたって具体的に審議する必要がありますので、市議会の審査機関として、予算特別委員会を設置し、総務水道、文教、産業、厚生、建設など、事業部門別に慎重に審議し、最後に本会議で決定されます。

このように、現在開かれて市議会は、むこう一年間の市政を左右する大きな問題が審議されていますが、市政は市民のみなさんの日常生活にもっとも関係の深いものです。市政を見守り、市政への理解を深めていただくために、市民のみなさんにはぜひ傍聴していただきたいと思っています。

— 2 —

ことしの一月十六日から、これまで住居地域であった新庄町、三浦町、山手町、己斐町、古田町、井口町の一部が、住居専用地域、(別図参照)に指定され、建築基準法の建築制限を受けることになりました。

広島市の用途地域は、住居、商業、工業、準工業の四つに分けられており、昭和二十四年、復興都市計画により大幅な指定がえがけられ、さらに、昭和二十七年、平和記念都市建設計画により指定変更があらって以来、現在に至っています。

用途地域制は、都市の中にあるいろいろな用途の建物をいくつ

の群に分けて、それぞれ適当な条件の地域の中に集め、相互に悪影響を受けないよう、都市の機能を合理的にするために設けられたものです。しかし、現行の建築基準法上の住居地域内の建築制限では

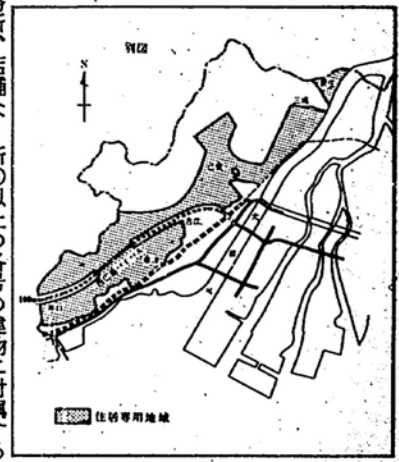
己斐、古田などを住居専用地域に住みよ

環境をつくるため

規制できない特殊な用途の建物が多量にあるため、都市の機能の悪影響を受けないよう、都市の機能を合理的にするために設けられたものです。しかし、現行の建築基準法上の住居地域内の建築制限では

いど混在することが認められていて、地区によっては、住居地域に指定される前から操業している工場などがあり、それには既得権があることなどが原因になって地域が混乱して用途の純化を

たわいで、こんど、決められた建築制限を守ることにによって、住宅地としての住みよ環境づくりが進められることになり、関係者の理解と協力をお願いします。



広島アラカルト

青年の海外派遣団員を募集しています

海外の見聞をひろめ、よりよい青少年活動を展開するため、世界青少年交流協会では、毎年、青年を欧米各国へ派遣しております。ことしも、青年の海外派遣団員を募集しますので、ふるってご応募ください。

応募資格①日本人で十八歳以上二十五歳の青年②英語、独語、仏語のうち、一か国語の簡単な日常会話ができる青年③ひとつ以上の特技がある青年——など。

派遣地域①アメリカ、ドイツ、スウェーデン、イタリア、ソビエト、トルコ、ギリシャなど十三か国

水道料金領収書の様式が変わります

ことしの四月から、水道料金の納入通知書兼領収書を、電子計算機により作成することになりました。したがって、四月分(四十三年度第一回検針分)から様式が変わりますので、ご注意ください。

新しい通知書兼領収書では、使用者がカナ書きになりますので

計量器の定期検査をお受けください

ハカリ、オモリなど、計量器の定期検査を行いますから、必ずお受けください。検査は雨天でも行ないます。また、計量法の改正により検査手数料がいらいます。日程と場所はこちらのとおりです。

三月二十五日井口出張所
二十六日草津小
二十七日古田小
二十八日庚午中
二十九日己斐ジョッピングセンター
四月一日計量検査所

二月十九日から「市政写真展」を開きます

市民のみなさんに市政に対する理解をよりいっそう深めていただくため、「広島市政写真展」を開きます。この写真展には、ゴミの収集、交通対策、下水道の整備、住宅建設、レクリエーション施設の整備など、市政上のおもな事業のようすをあらわした写真約五十枚

下水処理場を展示します。おさそいあわせのうえご来場ください。

期間/三月十九日(火)から三月二十四日(日)まで
時間/午前十時から午後六時まで
場所/福屋百貨店西階段ギャラリ
料金/無料

「施設見学会」へご参加ください

とき/三月二十八日(木)午前九時から午後三時三十分まで
集合場所と集合時間/市役所前に午前九時までに集合
見学する施設/中清掃事務所、食肉中央卸売市場、園芸指導所、ユースホステル、水源地、永安館

固定資産課税台帳の縦覧と固定資産評価審査委員会への審査の申し出

縦覧の期 三月二十一日(木) 審査の期 四月一日(月) 申し出の期 四月一日(月) 税第一課(電話四五二二・二二内線二六五・五四四)

お知らせコーナー